

作業療法技術学Ⅳ（音楽療法）

【科目名】 作業療法技術学Ⅳ（音楽療法）		【担当教員】 早川 昭
【授業区分】 専門分野（特論）	【授業コード】 4-26-1030-0-2	(メールアドレス) rp848488@fa3.so-net.ne.jp
【開講時期】 4 年次・後期	【選択必修】 選択	(オフィスアワー)
【単位数】 1 単位	【コマ数】 8 コマ	授業開校日時に非常勤控室で対応
【注意事項】		
(受講者に関わる情報・履修条件) 特になし		
(受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし		
【講義概要】		
(目的) 精神障害者・発達障害児(者)・高齢者に共通して有効な「音楽療法」を神経学的に検証しながら、各疾患への技術の習熟を目的とする。		
(方法) 音楽療法の理論と実技を交えた講義を中心とする。		
【一般教育目標(GIO)】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種の音もしくは音楽が人にもたらす利点と欠点を知る。 ・ その利点と欠点を神経学的に検証し、各疾患のより良い音楽の提供方法を知る。 		
【行動目標(SBO)】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際にいくつもの種類の音楽を体感し、その効果を実感する。 ・ 実際に音楽療法が使われている病院や施設の症例を具体的に検証する。 		
【教科書・リザーブドブック】		
講義の内容に合わせて、プリントを配布します。		
【参考書】		
必要に応じて指示します。		
【評価に関わる情報】		
(評価の基準・方法)		
成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		50	20	20				10	100 点
評価指標	取り込む力・知識	25	15	5					45
	思考・推論・創造の力	25	5	15					45
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢							10	10
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法			学修課題(予習・復習)	時間(分)			
1・2	・オリエンテーション ・音楽療法について 定義, 歴史, 特性, 対象者と目標 等	講義							
3・4	・発達過程と音楽 ・治療構造論, 集団力動	講義			・ここまでの纏め.				
5・6	・音楽療法の具体例 精神障害者, 認知症者 ・神経学的音楽療法について	講義・演習							
7・8	・事例検討 ・まとめ	講義・演習							

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。